芦高新聞

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町6-3
℡ 0797—32—2325

定期戦特集号

芦高 10－7 県西　6連勝達成!!

去る五月七日、西宮市民グラウンドに於て、第二十七回定期戦が行われた。そして今年は、野球の他に、ラグビーの前哨戦が行われ、両校とも全力を出し切った素晴しい試合を見せてくれた。

バスケ

男76－36
女49－48

女子無念！

バスケットボール男子の試合は一時二十分より体育館で行われた。

試合は、まず県西が先取点を挙げ、芦高も追いあげようと頑張り、フリースローを決めた。しかし、県西の連続シュートで、点差を開けられ、前半は、十三対四十二と県西のリードに終わった。

後半は、県西が前半の調子を続けて三ゴールを決めた。芦高も追い上げようとフリースローを決めたが、県西は見事なカットとパスを見せ、最終的には、七十六対三十六で県西の勝利となった。

‖県西顧問談‖
みんなの力で勝てた。今はとにかくうれしい。総体に向けて全力で頑張りたい。

‖県西主将談‖
点差が開いたのでとても楽だった。しかし、細かいミスが目立ったので今後は気をつけていきたい。

＊　＊　＊

女子の試合は予定通り、十一時三十分より試合が始まった。

最初は、芦高が積極的に攻めたが、思うようにシュートが決まらず苦戦していたが、フリースローにより先取点を挙げた。しかし、県西も、芦高のシュートミスのボールを一気にゴール前まで運び、シュートし、それをきっかけにシーソーゲームとなった。前半は、二十三対二十二と芦高が一点リードを取った。

後半は、ハーフタイムの時に、「今のところは最高」と語ってくれたように、芦高は一分もたたない内に、一点を先取し、芦高の優勢かと思われたが、前半同様苦戦となり、白熱した試合となった。しかし、最終的には、四十九対四十八と一点差で県西の勝利となった。

‖県西顧問談‖
ディフェンスが悪すぎた。苦しい戦いでした。一点差ですが勝ててよかった。

‖県西主将談‖
最低！でも一点差でも勝ててよかった。緊張しすぎて思いきって出来なかった。総体まで後一ヶ月悔いのないように頑張ります。

バレー

男0－2
女2－0

観客が一つになって

バレーボール男子の試合は、一時十分より体育館で行われた。

第一セット先取点は県西であった。出だしは接戦が続いていたが、しだいに芦高はミスと、アタックが県西の高いブロックに阻まれてなかなか決まらず、点数の差が開き始めた。一方県西は切れのいいアタックで得点を稼いで芦高は苦戦を強いられた。結果一方的に県西が得点を入れ十五対三で県西が取った。

第二セットも先に県西の得点で始まり前半芦高も粘りを見せたが、ベースは完全に県西のものとなってしまった。途中サーブ権の取り合いも激しく、いい展開になる兆しもあったが、しだいに点差が四対二、十対四と開いていき、後半ミスも目立ち、最後は芦高のアタックミスで十五対四と芦高自らベースをつかむことなく負けてしまったように思われた。

‖県西男子部長談‖
いまいちだった。平凡なバレーしか出来ず、見せ場がなかった。相手チームも調子が悪かったようだ。これからは、県の総体に向けてがんばります。

‖県西男子顧問談‖
無事終わってホッとしました。来年もよろしくお願いします。芦高は調子が悪かったようです。これからも芦高にいつも勝てるようにがんばります。

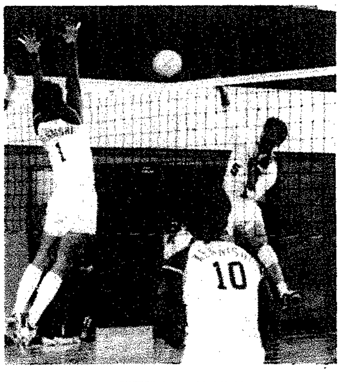
＊　＊　＊

バレーボール女子は十一時五十分に試合開始となった。第一セット芦高リードし、アタックもよく決まり、ボールも拾えていた。相手のアタックも、ブロックでよく防いで完全に芦高ペースの試合であった。県西は一セットの間に二回のメンバーチェンジと、タイムを取り、苦しい様子が感じられた。十五対八で芦高が一セット目を獲得した。

第二セット、今度は県西が先取点をあげ五対二と芦高が少し引き離されたが、奮闘し、六対七とついに逆点、しかし県西が追い上げ、十二対七と逆転し、リードした。芦高がタイムを取りその後調子を戻して追い上げ、十二対十三とまた逆転。最後は芦高の切れのいいアタックで十三対十五となり芦高の勝利。逆転・逆転・逆転と白熱の試合だった。

‖芦高顧問談‖
春休みに、コートがないため、他校に行って練習試合ばかりしていました。今日はその成果が出たと思います。とてもうれしいです。

‖芦高女子部長談‖
とてもうれしい。もう最高です。県西のプレーも良かったけど芦高はそれ以上に良かったと思います。引退まで精一杯頑張っていきます。



硬庭

男11－1
女5－7

硬式庭球の試合は、九時三十分よりテニスコートに於て、五面のコートを使って行われた。強い日射しの中、男女共シングルスから始められた。

男子は、初めから白熱した試合展開となり、観客の応援にも自然と熱が入っていた。両校とも力の込もったプレーを演じ、接戦が続いたが、結果は11－1で芦高の勝利であった。

女子は、応援席が遠かったため、男子程の声援はなかったものの、こちらも見ごたえのある試合であった。実力では県西の方が上だと言われていたが、芦高もよく粘り、取られたら取り返すといった具合で長い試合運びとなった。結果は5－7で県西が勝ったが、芦高もよく頑張っていた。

‖芦高男子部長談‖
全体ではまぁまぁの出来だった。全部勝つつもりだったが負けて残念だった。今後は、後輩に頑張ってもらいたい。

軟庭

2－1

軟庭女子は、約三十分遅れて開始されたが、県西男子の部員不足のため、女子ダブルスだけの試合となった。

第一試合は、最初芦高のペースが出ず一、二セット共県西に押されていた。しかし三セット目に芦高の反撃が始まった。五セット目には鋭いサーブ、レシーブに、六セット目には、前衛のボレーが次々と決まり四－二で芦高の勝利となった。

第二試合は、最初から芦高のペースで試合が進んでいった。一セット目県西のミスが目立ち更にその後も芦高の一方的な試合展開で四－〇の圧勝となった。

第三試合は、第二試合とはうって変わって白熱した試合展開となった。一セット目県西に押されぎみになったが二セット目少しずつ芦高の点数が重なり挽回。更に四、五セット県西に押されながらも芦高が取った。しかし六、七セットかなりの接戦の末、県西の勝利になった。

総計では二－一で芦高勝利となったが、観客が少なく今一つ盛り上がりに欠けた様だが試合内容は両校共、充実していた。

‖芦高主将談‖
二試合取って三試合目は惜しくも負けたが、部員全員で一生懸命頑張ったので悔いは残っていない。今回の試合で三年生は引退となるが、これから一、二年生で頑張ってほしい。

柔道

4勝
1引分

柔道の試合は武道場に於て、予定より二十分遅れて開始された。

まず芦高の中島と県西の上野の試合では、中島が開始後すぐ内股を決め一勝を得た。そして芦高の大野と県西の金沢の試合では、先に大野が背負いを取ったが途中金沢が脱臼のため棄権し、大野の勝ちとなった。続く芦高の岩田と県西の氣谷では、内股・けさ固めの合わせ技の末、芦高の勝利となった。三人目は、芦高の竹村と県西の毛利との試合で接戦となったが結局、竹村が小内刈り、毛利が二本背負い返しを取り、引き分けとなった。最後の芦高の祐植と県西の北島は、祐植が払い腰を取り、四勝一引き分けで芦高の圧勝となった。

‖芦高顧問談‖
結果は見ての通り芦高が勝ったが、県西の人がけがをしてしまいかわいそうだった。きっと県西もこの日にかけていたと思う。

‖芦高主将談‖
芦高は普段の成果が上げられて、勝つことができてよかった。これからは、総体に向けて練習に励みたいと思う。

剣道

3－2

一対一の真剣勝負

剣道の試合は、予定通りの時間に行われた。十五分ほど、軽く練習をして、すぐ女子のレギュラー戦が行われた。最初の試合から、やや県西の方が優勢で、県西が三試合続けて二本勝ちとなり、芦高にとっては苦しい試合展開となった。芦高もかなりの粘りを見せていた様だったが、決める所は県西の方がよく決めていた。芦高の努力も空しく、後の二試合も共に、芦高は県西から一本も取る事が出来なかった。

‖県西主将談‖
すごく満足のいく試合でした。芦高はファイトはあったけれど、決め技が少し欠けている気がした。私達も、県大会に向けて頑張っていきたいです。

続いて、男子のレギュラー戦が行われた。男子の試合は、女子と比べて一段と迫力さが増した。かけ声や歓声も大きくなった。最初の試合は、芦高が二本勝ちした。二試合目は、県西も頑張り、県西が二本勝ちした。なかなかの接戦が続いた。三試合目も接戦で、芦高の一本勝ちで終わり、四試合目は、県西に一本取られたが、芦高の二本勝ちで終わった。最後の試合は、県西に二本取られた。全体的に、そんなに力の差が見られず、なかなか勝負が決まらない様だった。結果は三－二で、芦高勝利となった。

‖芦高主将談‖
みんな少し固くなっていて、十分に力が発揮出来なかった。でも精一杯戦ったので、これからも今日の試合を忘れず頑張っていきたいです。

陸上

オープン

予定より多少遅れたものの九時四十七分、男子八〇〇mにより開始された。

今年は種目も少なく、県西の人数不足のため女子はオープンであったが、結局芦高は日頃の成果を発揮し勝利を収めた。

記録は以下の通り、

（男子八〇〇m）
①2分06秒－野口（芦）
②2分07秒－木村（西）
（男子五〇〇〇m）
①9分00秒－堀（芦）
②9分29秒（西）
③9分30秒－松村（西）
（女子三〇〇〇m）
11分42秒－前野（西）
11分51秒－斉藤（芦）
11分59秒－庭月野（芦）

裏表独語

コーコーセイになって三度目のこの時期がやってくる。6月、私にとって自分自身がぶっちする時である。——雨がしとしと降ってくるのを眺めて、7分冷ましのほうじ茶飲んでたりするとなんかものすごく死んでみたくなる。死にたくなるんじゃなくって死んでみたい。

ナゼ
ワカラナイ
タダ、シンデシマイタイ

6月は鬱と躁が一度にやってくる奇妙でそれでいてなんとなく嬉しくなるような、そういう月みたいです。そういう感傷のとっても似合う月です。6月は祝日もなく、じめじめしててうっとうしくって、じっとりとヒザの裏にかく汗は気色いくて、頭なんか思わず剃ってしまいたくなったりとかして一瞬キライと思ってしまうけど、私の「キライ」というのは「スキ」ということで「スキじゃない」ってことが「キライ」ということなのでこの「キライ」は、本人は「スキ」の「キライ」なんです。あー、そろそろ6月が深くなってきてるせいか自分がこんがらがってきました。自分がぶっちしてるせいか、気持ちがヘンに歪んでるせいか、周りがものすごくタイクツに見える。そして、思いっきり怖い顔がしたくなる。自分を思いっきりいじめてみたくなる。

気だるい空気の中、息するのもだるくて白いシャツの揺れる音を片方の耳だけで聞きながら、つ、と上を見上げると灰色から覗く群青色の空がとってもヒステリックに感じる。

なんかーいやで目を閉じてしまう、ピークには目をつぶることばっかしに一生懸命になっている。でも、だんだん目をそろりと開いて前向きになっている。気がつけばそこに7月がいる。

ラグビー

70－3

圧倒的勝利

五月六日、芦高グラウンドに於て前哨戦ラグビーの試合が行われた。

三時二十八分、芦高のキックオフで試合が開始された。前半開始早々、芦高は、左隅にトライを決め、一気に波に乗った。その後も順調に点を入れたが、前半十五分芦高が県西陣内で反則を犯し、ペナルティキックを決められた。しかし、芦高は次々とトライし、井原木のゴールも決まり三十六対三と芦高リードで前半を終えた。

後半も芦高の巧みなパスワークで敵の甘いタックルを抜いて、一方的な展開となり、県西を0点に抑え、完全に芦高のゲームとなった。結局七十対三と圧倒的な強さをみせた芦高の勝利となった。

‖芦高顧問談‖

得点は入ったが、組織プレーに欠けたので出来としては非常にまずい試合であった。相手チームは一年生が交じっていたが、よくくらいついてきたと思う。とにかく全国大会を目標に、チームをまとめていきたい。

‖芦高主将談‖

去年できなかった分、頑張るつもりだったが全体的にもう少し張り詰めたものが欲しかった。これからは、五月から始まる春の県民大会の優勝を狙って頑張りたい。

野球

4－3

クールな汗がキラリ

去る五月二日、定期戦前哨戦として硬式野球部の試合が県西グラウンドに於て行われた。県西であったせいか、駆け付けた生徒の数は少なかったものの、応援する生徒の期待に応えてくれる試合だった。

一回表、芦高は打線が好調でまず一点を先取した。

また、芦高は二回表、ヒット、送りバントの成功、そして県西のフォアボールも手伝って、二点を加え、三―〇とした。さらに五回表、一点を加えた芦高は、四―〇と大幅に県西をリードした。

しかし、それまで単調な攻撃しか見せれなかった県西も粘りを発揮し、六回裏に一点を返した。そして、八回裏には、二塁打を放ちさらにはスクイズも決めて一点を加えじりじりと芦高につめ寄って来た。

最終回、県西は三塁打から一点を加え四―三とし、同点、或いは逆転かと、芦高ベンチをヒヤリとさせたが、結局は、四―三のまま芦高が逃げ切った。

‖芦高顧問談‖

試合の流れとしては自分達の思い通りにはならなかったが、いいゲームだった。

これからは確実なプレーの出来るチームにしたい。

‖芦高主将談‖

去年は引き分けで一昨年は負けていたので、とにかく勝てて良かったと思う。今は、ともかく夏に向けて頑張りたい。

体操

オープン

開会式が終わった後、すぐにドッとつめかけた観客でほぼ席が埋まった頃、両校体操部の演技が始められた。今年は去年と少し異なり、十字に並べられたマット、跳馬の他に、男子の鉄棒の種目があった。

最初は、両校とも軽い運動で、跳び込み前転、倒立、などが行われた。そして、しだいに高度な演技に移っていくと、観客からの拍手も大きくなっていった。オープンとはいえ、両校共、白熱した演技展開となった。途中、多少の失敗はあったが、怪我もなく、短い体操の演技が終わった。今年の活躍も期待できそうだ。

‖芦高部長談‖

着地が決まらなかった事と、うけが悪かった事が残念でした。最後の総体頑張りたいです。

卓球

男9－2
女1－5

開会式が長びき、予定より二十分遅れで、試合が開始された。体育館の半面に男子四面、女子三面の卓球台が用意された。

男子は、ダブルスが二試合、シングルスが八試合行われた。ほとんどの試合が点の取り合いとなり、かなりの接戦となった。しかし後半には、県西のミスなどがあったため、芦高が徐々に引き離していき、勝利を得た。

‖芦高主将談‖

最高です。勝てて、本当に良かったです。県大会・近畿大会を目指します。

‖県西主将談‖

完敗です。来年は、勝てるように、頑張ってもらいたいです。

＊　＊　＊

女子は、ダブルスが一試合、シングルスが五試合行われた。今年は三年生が二人、一年生が六人での試合となった。そのため、非常に苦しい試合展開となり、今ひとつ、盛り上がりがなかった。県西は、カットがうまく、スマッシュが決まっていたのに対して、芦高は、スマッシュがなかなか決まらなかった。結局、五対一で県西の圧勝となった。

‖芦高主将談‖

一年生を交じえての試合でとても苦しかった。来年は、勝てるように頑張ってもらいたい。

‖県西主将談‖

最後の試合で、勝ててよかった。来年も、芦高に勝ちたいと思う。

サッカー

1－1

あと1ゴール！

予定時間より、一時間遅れた午後一時、応援団の声が響きわたる中、芦高のキックオフで開始された。試合は、県西が一方的に攻めていたが、芦高の固い守りによって接戦となった結果引き分けとなった。

前半九分、県西の田中がシュートを狙ったが、気持ちが先走り過ぎたせいか、はずれた。そして間もなく、芦高ゴール前でボールの取り合いとなり、危うくシュートかと思われたが、芦高キーパーの竹林の好守によって危機を脱した。その後何度も竹林の活躍が目立ち、県西のシュートを許さなかった。両校共、思うようにシュートを決められぬまま前半が終了した。メンバーチェンジが有り、新たな展開を期待しながら後半が始まった。そして、数分後、芦高にチャンスがおとずれシュート体勢に入ったが、惜しくもはずれた。先を争うゲームで、どちらが先取点を挙げるのか、見当もつかぬまま終了時間は刻々とせまった。後半になり芦高の攻めが多くなり、試合は白熱化した。ついに十二分後、芦高九番内藤がゴール前に踊り出して、快心のシュートを決め、芦高が先取した。だが間もなく県西が速攻で攻めてきて、ついに同点となり、試合は振り出しに戻った。このまま両校共一点どまりのまま試合が終了した。

‖芦高主将談‖

今日は少しつめが甘かった様な気がします。総体では去年の成績を上回る様な試合をしたいと思います。

62年度 大学合格状況

（　）は浪人

【国立大学】▼北海道大1（1）▼東北大1（0）▼筑波大2（1）▼埼玉大0（1）▼千葉大0（1）▼東京農工大1（1）▼電通大1（0）　▼一橋大0（1）▼信州大3（4）▼富山大1（1）　▼金沢大0（1）▼福井大0（1）▼静岡大1（0）▼名古屋工業大2（0）▼三重大0（1）▼滋賀大0（1）▼京都大0（1）▼京都教育大1（0）▼京都工芸繊維大1（3）▼大阪大1（0）▼大阪外語大2（0）▼大阪教育大3（0）▼神戸大6（7）▼和歌山大1（0）▼鳥取大1（0）▼岡山大1（1）▼徳島大1（1）▼愛媛大1（0）▼高知大1（1）▼鹿児島大1（1）

計34名（30名）

【国公立短大】▼神戸看護短大0（1）▼姫路短大1（0）

計1名（1名）

【公立大学】▼都立大1（1）▼京都芸術大1（0）▼京都府立大0（1）▼大阪市立大2（1）▼大阪府立大3（3）▼神戸商科大4（6）▼姫路工業大0（1）▼下関市立大0（1）

計11名（14名）

【私立大学】▼酪農大0（1）▼城西大0（1）▼和光女大0（1）▼文教大0（1）▼青山学院大1（2）▼学習院大0（1）▼慶応大1（2）▼国学院大0（1）▼駒沢大0（1）▼芝浦工業大0（1）▼上智大3（0）　▼成蹊大0（1）▼専修大0（1）▼駿河台大0（1）▼中央大0（1）▼東海大0（1）▼東京工業科大0（1）▼東京電機大0（1）▼東京理大0（1）▼日本大1（12）▼法政大1（3）▼武蔵野工業大0（1）▼武蔵野美術大0（2）▼明治大0（3）▼明治学院大0（1）▼立正大0（1）▼早稲田大0（5）▼金沢工業大1（1）▼中京大0（1）▼日本福祉大0（1）▼大谷大1（1）▼京都外国語大2（1）　▼京都学園大1（0）▼京都産業大2（5）▼京都女子大1（0）▼同志社大9（18）▼同志社女子大5（0）　▼仏教大0（3）▼立命館大7（22）▼竜谷大1（12）▼大阪音学大1（0）▼大阪学院大4（0）　▼大阪経済大7（8）▼大阪経法大0（1）▼大阪芸術大0（1）▼大阪工業大5（10）▼大阪産業大3（3）▼大阪医科大0（1）　▼大阪商業大0（2）▼大阪電通大1（4）▼大阪薬科大1（0）▼追手門大6（4）▼関西大22（33）▼関西外国語大1（0）▼近畿大5（14）▼摂南大1（9）▼帝塚山学院大2（1）　▼梅花大5（0）▼阪南大0（1）▼桃山学院大2（3）▼芦屋大1（0）▼英知大1（0）▼大手前女子大1（0）▼関西学院大21（27）▼甲南大27（21）▼甲南女子大16（0）▼海星女子大5（0）▼神戸学院大6（8）▼神戸女学院大4（2）▼神戸女子大2（0）▼神戸薬科大1（1）　▼松蔭女大3（1）▼親和女大12（0）▼聖和大2（0）▼園田大1（0）　▼兵庫医科大0（1）▼姫路独協大1（2）▼武庫川女大7（1）▼八代学院大1（0）▼岡山理科大0（2）▼広島習大0（2）　▼西日本工業大0（1）▼ハワイ・マカダニア大1（0）

計211名（277名）

【私立短大】▼共立大1（0）▼恵泉大1（0）▼淑徳大0（1）▼目白大0（1）▼山脇大1（0）　▼東洋英知大1（0）▼名古屋栄養大1（0）▼京都短大1（0）▼京都女大短大4（1）▼光華大1（0）▼嵯峨美術大2（0）▼平安大2（0）▼大青山大8（0）▼大音楽短大2（0）▼大阪工業短大0（1）▼大阪産業短大0（2）▼大阪女学院1（0）▼大成蹊大4（0）▼関西外国語短大3（0）▼金蘭大18（0）▼相愛大3（0）▼帝国大1（0）▼帝塚山学院短大1（0）▼梅花大5（0）▼羽衣大1（0）▼甲子園大1（0）▼甲南女子大13（0）▼海星大4（0）▼神戸学院短大1（0）▼神戸女子短大3（0）▼常盤大0（1）▼山手大10（0）▼松蔭大5（0）▼頌栄大4（0）▼聖和大4（0）▼園田大4（0）▼武庫川大16（0）▼帝塚山短大1（0）▼福岡女子短大1（0）▼長崎外国語大1（0）

計136名（7名）

【医療系専修学校】▼大阪府医師会看護専門学校0（1）▼大阪物療専門学校1（0）▼大阪済生会中津看護専門学校1（0）▼国立療養所刀根山病院付属看護学校1（0）▼県立厚生専門学校2（0）▼兵庫歯科学院専門学校1（0）▼藤森看護専門学校0（1）▼西宮医師会准看護専門学校1（0）

計7名（2名）

【その他の専修学校】▼梅田ビジネス専門学校1（0）▼大阪ビジネススクール1（0）▼大阪写真学校2（0）▼大阪電子計算機専門学校1（0）▼大手前栄養文化学院1（0）▼関西テレビ電気専門学校1（0）▼コンピューター日本学院専門学校1（0）▼日本調理師専門学校1（0）▼日本コンピューター専門学校1（0）▼日本電子専門学校1（0）▼駿台外語専門学校1（0）▼HALコンピューター総合学園2（0）▼神戸経理コンピューター専門学校1（0）▼神戸電子専門学校1（0）▼神戸国際ビジネススクール1（0）▼日本高等美容専門学校1（0）▼田中千代服飾専門学校1（0）

計9名

【就　職】▼住友銀行1▼兵銀コンピューター1▼イトマンスイミングクラブ1▼神戸市1▼家業従事2

計4名

編集後記

▼第二三一号はいかがでしたか。今回は「定期戦」の特集をしたわけですが、前号がなかなか出ず、焦りましたが、ようやく出せることが出来ました。一年生も仕事に慣れ、三年共々一生懸命作ったので見ていただけたら幸いです。

▼去年は十人で新聞を制作したので、今年は一年生が八人も入りかなり楽になりました。本来、既に引退しているはずの我々ですが、後輩に仕事を任せられる日までがんばります。

（出版部一同）

部員から一言

▼目があっちゃった!!（はらぼん）▼ボタンを一つなくしてしまった！あと3つは無事です。（かじゃぼん）▼はじめての仕事でつかれました。（瑠璃）▼体育館にいたから日焼けしなかったんだ。（ぷぷちゃん）▼外にいたから、顔がお猿のおけつになっちゃった。（YOU）▼アルバム委員のおじさんってば宗猛だぁ（茂兄さん）▼君、ニヤニヤすんな！そらアンタや！（羽田ちゃん、津野ちゃん、まーこーちゃーん）▼いぇい！（TAKA）▼1年B組21番五しゃんばんざい（イエ〜イ）▼やっぱり三年生は地獄です！（私よ♡）▼いつもつかれている。（今日もつかれた）▼なんぞや！（紀文のはんぺん）▼今年の定期戦も見たい試合が見れなかった。（クヤシイ）▼なぜかまだ部にいます。（部歴三年）▼私、今、無性にアポロチョコが食べたい！（くでぇ〜）▼私、今金魚の席のとなりなの！（一里塚）▼バースはホーナーの前でリキんでいる。（コロコダイル）